

日高屋五郎兵衛

紀井國屋久兵衛

長島屋喜兵衛

右は蜜柑茶船にて賣場へ瀬取參候世話、其外船手筋用事請込、右三人之者は常々紀州御屋敷へ出入致し御用達申候、

〔本草一家言〕^三土佐蜜柑。産土佐國、其形扁皮色紋理至如包橘、味極甘如柑、少有橙氣、又大如包橘、

大如蜜羅柑、形圓色赤、味酸至春少甘、

〔奴師勞之〕長崎は暖國にて、すべて柑類よろし、橙など九年母の味ひありてよろし、豊後梅に星なくして大なり、蜜柑の味よろし、

〔西遊雜記〕^五八代後肥は古き所にて、市中凡五千餘軒の地也、然れ共邊鄙の町ゆへに、諸品自由ならず、さて此在々に於て、名産と云蜜柑の木を見るに、紀州の蜜柑とは異にして大樹也、大ひなるは盤二十

有、夫にても若々敷見事なる蜜柑のおびたゞしくなる事也、紀州にては若木ならでは見事の大なる蜜柑の實のらざる故に、古木は切捨て、次第々々につぎほをして、若木計を植る事なるに、

此所にては古木の太樹ならでは、見事なる蜜柑實のらずと云々、地の利其地のよしあしによつて異なれば、經濟の心あらん人は地の善惡を見地によく生せる物を下民に植させ、地の利を残りなくとりて、後世の助けとなし度もの也、

橙

〔本草和名〕^{十七}橙似柚而小、出、穰子、小温也、和名阿倍多知波奈、

〔本草和名〕^{十七}枸櫞上音俱、禹反、下尸全反、和名加布知、

〔倭名類聚抄〕^{十七}橙、七卷食經云、橙宅耕反、和名安倍、太知波奈、似柚而小者也、

〔箋注倭名類聚抄〕^九果、和名依輔仁、安倍太知波奈未詳、中本草和名引、無者也、二字、說文橙、橘屬